

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	第3学年	WORLD TREKⅢ WORLD TREK Workbook Target1900

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・コミュニケーション英語Ⅲの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（4単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意して話すことができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 	コミュ英Ⅱ 小テスト インタビュー テスト スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現、文法事項などの知識を使って、正確な文を書くことができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 	コミュ英Ⅱ ライティング テスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意して聞くことができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 	コミュ英Ⅱ リスニング テスト 定期考査	400語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をめれなく理解することができる。	コミュ英Ⅱ リーディング テスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観 点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 1 (15 時間)	エマワトソン が抱えていた 悩みと、それ をどのように 乗り越えて現 在の活動に至 ったのかとい う内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・人生において大切なものは何かについての内容を理解する。また、自分の人生において大切だと思うことについて述べる。	・セクションごとの内容について興味関心を持っていることをワークシートに書かせたり、発表させる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心を持っている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだことを要約する。本文の表現などを使いながら自分の人生について述べる。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分の好きなスポーツ選手やその理由などを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・自分で作った文や他の生徒の文をノートに書かせ提出させる。
		「外国語理解の能力」			
		・世界的女優のエマワトソンから、女優・モデル以外にも、教育や人権に関わる活動をしている。それらrをどのような思いで始めたのかについて学ぶ。	・内容を理解しているかどうかを確認するため、セクションごと内容を英語または日本語でまとめさせる。	・教科書掲載の【T/F 問題】【Q&A 問題】の問いを利用して、本文の内容をどの程度正確に答えることができるかを評価する。	学習したことをノートに書かせ提出し、また定期考査でも出題する。
Lesson 2 (15 時間)	なぜ私たちは ペットを飼う のか、列挙さ れている理由 を読み進める 内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペットはあらゆる年代から愛され、飼われている。なぜペットを飼うのかを改めて考えることで、動物と共存することの大切さなどを読み取らせる。	・セクションごとの内容について興味関心を持っていることをワークシートに書かせたり、発表させる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心を持っている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ペットを飼う理由、飼わない理由を本文の語句を使いながら話すことができる。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分の好きな動物やその理由などを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・自分で作った文や他の生徒の文をノートに書かせ提出させる。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・文の構造（特に導入展開、結論）を理解している。	Get the Gist および Further Comprehension の問題を解かせて、解答を解説する。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を使って、各文法事項の用法を正確に理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。	・定期考査において、該当文法項目を出題する。

		「外国語理解の能力」			
		・ペットはあらゆる年代から愛され、飼われている。なぜペットを飼うのかを改めて考えることで、動物と共存することの大切さなどを読み取らせる。	・内容を理解しているかどうかを確認するため、セクションごと内容を英語または日本語でまとめさせる。	・教科書掲載の【T/F 問題】【Q&A 問題】の問いを利用して、本文の内容をどの程度正確に答えることができるかを評価する。	・学習したことをノートに書かせ提出し、また定期考査でも出題する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		例示・列挙の展開を理解している	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を解かせて、解答を解説する。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を使って、各文法事項の用法を正確に理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。	・定期考査において、該当文法項目を出題する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (15 時間)	クロワッサンの歴史について時間的順序を示す語句に注目しながら読み、身近なものや文化や歴史についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・クロワッサンの歴史について読み、理解しようとしている。	・セクションごとの内容について興味関心を持っていることをワークシートに書かせたり、発表させる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心を持っている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・クロワッサンがどのように世界中で親しまれるようになったのかを本文の語句を用いながら話すことができる	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分の好きなスポーツ選手やその理由などを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・自分で作った文や他の生徒の文をノートに書かせ提出させる。
		「外国語理解の能力」			
		・クロワッサンとトルコ軍の旗やマリー・アントワネット、ルイ 16 世などとの関係を理解する。	・内容を理解しているかどうかを確認するため、セクションごと内容を英語または日本語でまとめさせる。	・教科書掲載の【T/F 問題】【Q&A 問題】の問いを利用して、本文の内容をどの程度正確に答えることができるかを評価する。	・学習したことをノートに書かせ提出し、また定期考査でも出題する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・年、月、日などの時を表す標識や next, then の順序を示す標識を理解している、	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を解かせて、解答を解説する。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を使って、各文法事項の用法を正確に理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。	・定期考査において、該当文法項目を出題する。
Lesson 4 (15 時間)	自由貿易について基本的な理解を得ると共に、その問題点についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自由貿易についての説明を読み、その仕組みや貿易に関わる人たちの思いを理解しようとしている。	・セクションごとの内容について興味関心を持っていることをワークシートに書かせたり、発表させる。	・メモを取り、内容に関心を持っている。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。

		「外国語表現の能力」			
		・様々な貿易について調べて表に整理し、発表しようとしている。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分なら何を世界に貿易したいかを聞き手に伝えるように話すことができる。	自分で作った文や他の生徒の文をノートに書かせ提出させる。
		「外国語理解の能力」			
		・様々な貿易について調べて表に整理し、発表しようとしている。	・内容を理解しているかどうかを確認するため、セクションごと内容を英語または日本語でまとめさせる。	教科書掲載の【T/F 問題】【Q&A 問題】の問いを利用して、本文の内容をどの程度正確に答えることができるかを評価する。	学習したことをノートに書かせ提出し、また定期考査でも出題する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		類似点や相違点などの比較、互いに対をなす要素比較する対照について理解している。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を解かせて、解答を解説する。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を使って、各文法事項の用法を正確に理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。	・定期考査において、該当文法項目を出題する。
Lesson 5 (15 時間)	宇宙で行われている様々な実験がどのような問題を解決しているのかという内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・私たちの生活とは関係のなさそうな宇宙が、日常生活に非常に影響を与えていることを理解しようとしている。	・セクションごとの内容について興味関心を持っていることをワークシートに書かせたり、発表させる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心を持っている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		環境をより良くするには何ができるかを表にまとめ、グループで意見交換をすることができる。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、環境を良くするためには何ができるかなどを、聞き手に伝えるように話すことができる。	自分で作った文や他の生徒の文をノートに書かせ提出させる。
		「外国語理解の能力」			
		筆者の見解や将来の展望などを理解している。本文に挙げられている問題点とそれに対する解決策を読み取ることができる。	・内容を理解しているかどうかを確認するため、セクションごと内容を英語または日本語でまとめさせる。	教科書掲載の【T/F 問題】【Q&A 問題】の問いを利用して、本文の内容をどの程度正確に答えることができるかを評価する。	学習したことをノートに書かせ提出し、また定期考査でも出題する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		宇宙開発が私たちの生活にどう影響するのかを読み取ることができる。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を解かせて、解答を解説する。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を使って、各文法事項の用法を正確に理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。	・定期考査において、該当文法項目を出題する。
Lesson 6	中村哲さんが	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

(15 時間)	長年に渡り行ってきた支援活動についての内容。	・中村さんがパキスタンやアフガニスタンでどのような支援を、何のために行ってきたのかを理解しようとしている。	・セクションごとの内容について興味関心を持っていることをワークシートに書かせたり、発表させる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心を持っている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・海外で困っている人のために何ができるかを本文の語句を用いて話すことができる。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、海外で困っている人に何ができるかを聞き手に伝わるように話すことができる。	・自分で作った文や他の生徒の文をノートに書かせ提出させる。
		「外国語理解の能力」			
		・中村さんがパキスタンとアフガニスタンで取り組んできた支援を読み取ることができる。	・内容を理解しているかどうかを確認するため、セクションごと内容を英語または日本語でまとめさせる。	教科書掲載の【T/F 問題】【Q&A 問題】の問いを利用して、本文の内容をどの程度正確に答えることができるかを評価する。	学習したことをノートに書かせ提出し、また定期考査でも出題する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・本文で述べられている原因・結果などの因果関係に注目し、それらを理解している。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を解かせて、解答を解説する。	・Get the Gist および Further Comprehension の問題を使って、各文法事項の用法を正確に理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。	・定期考査において、該当文法項目を出題する。
Lesson 7 (15 時間)	様々な調査結果から、友情が健康に与える影響はもつと評価されるべきという筆者の主張を理解する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・友情と健康の関係の調査結果から興味深い事実が浮かび上がってきた。その事実と恩恵を理解しようとしている。	・セクションごとの内容について興味関心を持っていることをワークシートに書かせたり、発表させる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心を持っている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・友情と健康について調べて表にまとめ、発表しようとしている。	・イラストを使って本文の内容を説明することができる。 ・イラストを使って、友情がどのような恩恵をもたらすのかについて説明する。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、友情と健康について、自分の考えなどを聞き手に伝わるように話すことができる。	・自分で作った文や他の生徒の文をノートに書かせ提出させる。
		「外国語理解の能力」			
		・友情と健康の調査結果から何が分かったのかを理解することができる。	・内容を理解しているかどうかを確認するため、セクションごと内容を英語または日本語でまとめさせる。	・教科書掲載の Challenge Exercises の問いを利用して、本文の内容をどの程度正確に答えることができるかを評価する。	・学習したことをノートに書かせ提出し、また定期考査でも出題する。

		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ Challenge Exercises1-3 の Comprehension を用いて、本文の内容を理解しているか確認する。	・ Challenge Exercises の問題を解かせて、解答を解説する。	・ Challenge Exercises の問題を使って、各文法事項の用法を正確に理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。	・ 定期考査において、該当文法項目を出題する。
Lesson 8 (15 時間)	人のネットワークをたどることで世界中の人々に容易に結びつけるという理論について、筆者の批判的考察についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ 「スモールワールド仮説」を理解し、正解が意外と小さく、比較的簡単に世界の誰にでも行きつくということを理解しようとしている。	・ セクションごとの内容について興味関心を持っていることをワークシートに書かせたり、発表させる。	・ 必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心を持っている。 ・ 必要に応じて辞書などを活用している。 ・ 理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・ ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ 人はどのようなネットワークを持っているかを本文の表を参考にして、表などにまとめ、発表することができる	・ イラストを使って本文の内容を説明することができる。 ・ 人はどのようなネットワークをもっているかについて調べて表にまとめ、発表することができる。	・ この単元で学んだ語句や表現を用いて、人のネットワークはどのようなものかなどを、聞き手に伝えるように話すことができる。	・ 自分で作った文や他の生徒の文をノートに書かせ提出させる。
		「外国語理解の能力」			
		・ 例えば自分に100人の友人がいて、その100人もそれぞれ100人の友人がいれば、自分は1000人もの人とすぐにつながることができるかもしれないということを読み取ることができる。	・ 内容を理解しているかどうかを確認するため、セクションごと内容を英語または日本語でまとめさせる。	・ 教科書掲載の Challenge Exercises の問いを利用して、本文の内容をどの程度正確に答えることができるかを評価する。	・ 学習したことをノートに書かせ提出し、また定期考査でも出題する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		本文が仮説の提示、仮説からの問題提起、実験調査方法の説明、実験の良そうと結果、実験結果の考察、数学的解釈、社会学的解釈というパラグラフ構成になっていることを学ぶ。	・ Challenge Exercises の問題を解かせて、解答を解説する。	・ Challenge Exercises の問題を使って、各文法事項の用法を正確に理解し、適切に使うことができるかどうかを評価する。	・ 定期考査において、該当文法項目を出題する。